

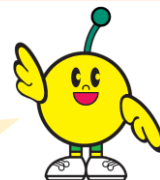
「10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、震災と原発事故から間もなく15年が経過する中で、**福島県の復興の状況**をより多くの方に知っていただけるよう、**復興に関する10の疑問**に答える形で、図や写真でわかりやすくまとめた資料を作成しています。

「**福島県の復興**って今どれくらい進んでいるんだろう・・・？」と疑問に思った方や初めて福島を訪れる方などに是非ご覧いただければと思います。



福島県復興シンボルキャラクター「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ▼



ページ一例

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ

「きこえないきこえない」のサインイベントである東京2025年アリンピックが日本で初めて開催され、2025年11月14日から25日までの期間、福島復興のシンボルである「フレッジ」(広野町、鶴岡町)でサッカー競技が行われたよ。国内外から多くの選手、関係者が訪れ、熱戦を繰り広げたよ。

こどもたちは、事前に学んだサインエール(手話の動きを交えた応援)を行い、応援の輪は多くの観客に広がり、会場全体が一体となって盛り上がったよ。大会期間中、約16,000人が参加した会場では、県内の伝統競技や魅力を伝えるブースを設置するとともに、東日本大震災・原子力災害伝承館への無料のシャトルバスを運行し、復興の姿を発信したよ。

福島県
2025年12月26日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では最大震度6強を記録し、地震で建物が崩れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

地震被害：須賀川市
地震被害：白河市
津波被害：いわき市
津波被害：浪江町

この地震で亡くなった人は、4,181人※(2025年11月1日時点)。そのうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は、1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は、2,350人で、このようにして亡くなってしまったことを、「震災関連死」というよ。

※国が利用していない、亡くなったものとして記録されている方など226名を含む

⑩ 風評被害ってなんだろう？

立と定で、福島県のもやお米の値段が他の県よりも安いことや、観光客数が震災前の状況まで回復していないことを懸念したね。間違った情報が広がることを「風評」といい、風評による誤解や思い込みで、福島県産のものや、福島県に来ることが避けられてしまうことを「風評被害」というよ。

海外や国内での状況

輸入規制している国、地域 55か国 (2025年11月2日)

風評被害に関する消費者意識の実態調査

福島県産食品の輸入規制を止めるための活動

福島県産食品の一部を輸入禁止している国・地域 (2025年2月) 輸入規制

福島県産食品の一部を輸入禁止している国・地域 (2025年2月) 輸入規制

福島県産食品の一部を輸入禁止している国・地域 (2025年2月) 輸入規制

福島県では、風評を取り除くために、県内の放射線量の状況などの正しい情報と、農林水産物や観光などの魅力を国内外に発信したりする取組を進めているんだ!

福島県の魅力を発信

ゆるゆるフレッジ
ゆらゆらフレッジ

オリジナル品種の開発
種、実、

清流アグリ・ツーリズム

海外での農林水産物のPR

漁フェスの開催

- 復興の基礎的な情報に加え、現状と課題等をまとめた「復興・再生のあゆみ」
- 復興の進捗をグラフ等を用いてまとめた資料集「ふくしま復興のあゆみ」
- 復興の状況・浜通り地域等15市町村のあゆみを視覚的にまとめた『「新生ふくしま」の実現に向けて』も作成しています。復興の状況について詳しく知りたい方は是非ご覧ください!

